

議会だより

68

のとちょう

2022.5.1



新緑の風

元気に泳げ

ヤマメの放流

令和4年度 当初予算を可決

3月定例会議・1月会議……………2-4

一般質問……………5-11

議案をチェック……………12-14

常任委員会レポート

主な議会活動……………15

まちかどインタビュー

編集後記……………16

150億1400万円などを可決！

能登町第二次総合計画に基づく事業や関係人口創出事業などの推進を図る。

一般会計予算額 150億1400万円
前年度比 +18億7500万円 (+14.3%)

特別会計予算額 55億2245万円
※国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険特別会計
前年度比 +1億4848万円 (+2.8%)

企業会計予算額 59億2486万円
※水道事業、下水道事業、病院事業会計
前年度比 +1億765万円 (+1.9%)

一般・特別・企業会計を合わせた
予算規模総額 264億6131万円
前年度比 +21億3113万円 (+8.8%)

令和4年第2回能登町議会3月定例会議を3月7日から17日にかけて開催し、町長提出議案37件が提出された。
議案は令和4年度当初予算、令和3年度補正予算のほか条例改正などであり各常任委員会により審査し全議案を可決した。

15日には8人の議員が町政全般について一般質問を行った。
17日には議会提出議案として意見書2件、決議1件を追加提出し、原案を可決した。

議会提出議案

意見書を関係大臣等へ提出

○地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書

○介護職員の処遇改善に関する手続きの簡素化と対象職種の拡大を求める意見書

ウクライナ侵攻に抗議する決議

ロシアは2月24日、ウクライナに侵攻した。

これは、ウクライナの主権と領土の明確な侵害で、国連憲章の原則に反するとともに、関係国の平和を求める努力を踏みにじる行為である。G7では、深刻な国際法違反であり、国際秩序に対する深刻な脅威で

あるとして強い非難を表明した。

よって、本町議会は、国際間の法秩序と対話による世界平和の実現を希求し、政府においては、国際社会とも連携し、あらゆる外交努力によって、ロシアのウクライナからの無条件即時撤退を強く要請する。

令和4年度当初予算、一般会計

令和4年度主要事業

関係人口創出事業の更なる推進

●地域外複業人材活用促進事業

- ・町内事業者が新事業・販路開拓や経営改善のために活用する複業人材の費用を助成し、複業による関係人口の創出を図る。（都市部社会人をターゲット）

●ワーケーション受入れ推進事業を実施

- ・地域資源を活用し、新たな観光・ワーケーションのコンテンツを作成。その活用事例を写真・映像により、町内外に発信する。
- ・当町の課題解決をテーマとした企業研修を誘致し、関係人口の創出と課題解決のきっかけをつくる。

※財源は地方創生推進交付金及び企業版ふるさと納税を活用



ワーケーション（イメージ）

①誰もが住みよいと感じる地域が一体となったまちづくり

●防災減災対策の強化

- ・町道法面崩壊緊急対策事業（1億円）

●能登自動車学校存続支援事業

- ・教習コース改修に係る補助（4200万円）、高齢者講習助成（331万3千円）



町道法面工事

②地域の魅力を生かしたしごとづくり

●養殖業促進事業（250万円）

- ・金沢大学能登海洋水産センターからの技術提供及び指導を受け、産学連携によって養殖業に取り組む事業者を支援（設備導入：最大250万円、施設整備：最大600万円）

●能登町産おいしいお米普及事業（15万円）

- ・学校給食の米飯を2等米から1等米とする掛かり増し経費を助成

●創業・継承支援事業（1891万円）

- ・町内での創業や事業継承を支援（開業初年度最大300万円）実績により予算を増額

●外国人観光客等「おもてなし」向上プロジェクト（500万円）

- ・コロナ収束後を見据えたインバウンド需要等を見込み、受入環境の整備（トイレの洋式化）を行う飲食店を支援（最大50万円）



創業塾受講風景

③健康で心に豊かさを持てる人づくり

●統合保育所整備事業（1億3966万7千円）

- ・宇出津地区の2保育所を統合し、新たに保育所を整備する（R4事業：統合保育所実施設計、ひばり保育所解体工事、地質調査）

●まつなみキッズセンター再整備計画（348万7千円）

- ・まつなみキッズセンターの再整備に向けた計画策定

●こどもみらいセンター子育て支援ルーム改装（1172万6千円）

- ・こどもみらいセンター子育て支援ルームについて、利用環境の向上を図る

●新型コロナワクチン接種（4689万7千円）

- ・新型コロナワクチンの3回目接種及び5～11歳の接種体制を確保



解体されるひばり保育所

令和4年度主要事業

●妊娠サポート事業（300万円）

- ・妊娠・出産期の健診にかかる交通費を支援し、安心して出産できる環境をつくる（妊婦1人につき5万円を上限）



妊婦（イメージ）

④地域を通して共に学び、まちの未来を担う人づくり

●GIGAスクール推進事業（1889万6千円）

- ・一人一台整備されたタブレットPCを活用し、学習者用デジタル教科書を利用した授業を実施

※デジタル教科書は国事業により配布されるため、町予算計上はなし。

（英語：全小中学校、理科（小中各1校）、算数（小2校）数学（中1校）

●能登高等学校魅力化事業（4999万3千円）

- ・地域留学事業（全国から応募した高校2年生が1年間能登高校へ留学）
- ・「まちなか鳳雛塾（公営塾）」運営
- ・能登高校支援事業（制服・通学・部活動補助、給付型奨学金、国立大学入学一時金等）



鳳雛塾 受講風景

●英語力向上対策事業（123万4千円）

- ・オンライン英語授業の実施（外国在住の外国人講師と生徒のマンツーマン授業）
- ※通信環境が整備されている当町において県内で唯一実施

⑤地域の絆を深め、住み続けたくなるまちづくり

●定住促進事業の推進（2508万円）

- ・R3年度に整備した活動交流拠点「ノトクロスポート」を活用し、移住定住サポートを実施

●大会合宿等誘致事業（782万3千円）

- ・従来の制度を拡充し、能都健民テニスコート及びWAVEのとを利用する一般・シニア層等スポーツ団体への助成を実施



ノトクロスポート

⑥わかりやすい行財政と情報の共有によって、つながるまちづくり

●マイナンバーカード出張申請サポート（50万円）

- ・隔週土曜日に町内大型店舗において、マイナンバー出張申請窓口を開設

●遊休施設解体事業（1億9559万6千円）

- ・財政負担を将来世代へ先送りしないため、公共施設等総合管理計画に基づく解体を加速化



解体される漆原浄水場

遊休施設解体事業一覧

【解体費用計上】

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ○旧日和山バス待合所 | ○潮騒の丘公園内施設 |
| ○旧藤波駅 | （漁火の宿、漁心庵、トイレ、東屋） |
| ○柳田埋立処分場管理棟 | ○当日アイパーク |
| ○内浦埋立処分場管理棟 | ○真脇遺跡公園内施設 |
| ○旧内浦健康福祉センター | （トイレ、草屋根の館等） |
| ○ふれあいの里施設 | ○瑞穂ポケットパーク遊具 |
| （屋外バーベキュー場、休憩所トイレ | ○城野町元教員住宅 |
| かぶとの森トイレ・遊具） | ○旧瑞穂小中学校 |
| ○ハーモニーセンター | ○漆原浄水場※水道事業会計にて実施 |

【実施設計・調査費計上】 ※解体工事費は補正予算又は後年度に計上予定

- | | | |
|---------|---------|---------|
| ○旧小木幼稚園 | ○農業研修施設 | ○旧柳田小学校 |
|---------|---------|---------|

■その他事業

●奥能登クリーン組合負担金（12億9694万3千円）

- ・新ごみ焼却施設（R5.1月稼働開始予定）整備に係る負担金10億2849万6千円

1月会議

令和4年1月14日に「令和4年第1回能登町議会1月会議」を開会し、町長提出議案1件が提出され、原案のとおり可決した。

いっぱん質問

議員が、町の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判などを執行者に直接質問することです。

3月定例会議の一般質問（15日）



向峠 茂人 議員

問 一次産業への思いと認識度は

答 基盤整備、担い手支援に取り組む

問 全町的に県営ほ場整備が進んでいる。整備後の問題点についての対応は

答 町長 ほ場整備事業は、農家の高齢化による後継者不足、担い手不足に対応するためにも一層推進する必要がある。令和5年度以降の採択に向けても準備を進めている。大型農業機械の導入に一部助成を行い、担い手の経営安定化を図っている。また乾燥機導入の一部助成も行っている。

能登町産の能登牛、能登町産米（能登姫）、たまねぎを使ったオール能登町産牛丼の給食を町内の小中学校と保育所に提供し、食育・地産地消に取り組んでいる。令和4年度から「おいしいお米普及事業」で町内産の一等米をすべての学校給食に使用する。今後も農業所得の向上と生産コストの削減に向け、農業者、農業法人の皆様の声を聞き、国や県の制度も活用しながら地域農業の維持に必要な基盤整備や、担い手の支援に取り組む。



オール能登町産給食

問 イカ釣り船等の就業者不足対策は

答 農林水産課長

県内の漁業就業者数の約9割を占める能登地域は、今後10年間で人口の約15%に相当する3万人が減少すると予測されており漁業就業者の確保は一層厳しい状況である。このことから、令和2年度に能登町沿岸沖合漁船就業対策事業を創設し、小型船舶操縦士免許、海技士免許の取得に係る経費を助成し漁業の担い手育成を図っている。また県研修生受入船主協議会が受け入れるインドネシア人漁業実習生は、大きな戦力としてイカ釣り漁業や底引き網漁業などで今や不可欠な存在である。実習生の日本人帰化については、本人の意思が最も重要であると考えている。今後も県漁協と連携し、研修受入船主協議会への協力を続けていきたい。

問 地元産材の利用促進に努力を

答 町長

平成22年に制定された公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律があり、構造や内装等の木質化が進められ、断熱性や調湿性等に優れ紫外線を吸収する効果、また衝撃を緩和する効果が高く木の香りで人をリラックスさせ集中力を高め心理面・身体面での効果も期待されている。今後、公共施設にはものにもよるが木造を基本としたい。これからの取組は重要な産業である林業や、木材産業の持続性を高め、林業従事者や後継者の育成につなげる。町と県では新築や増改築の際、県産材の使用量に応じて助成しており、今後も県産材の利用促進のため制度の周知を進めていく。



鍛冶谷 眞一 議員

問 福祉の実務者の高齢者対策

答 自助、共助、公助で生きがい

問

県の発表では当町の高齢人口の割合が51・4%で珠洲市に次いで高い。また世帯数でも能登町全体の44・9%が高齢者の世帯だ。町長は本議会でも「少子高齢化や過疎が進み、誰も経験したことのない時代を迎え様々な課題に直面しているが、町政運営に邁進する」と決意していた。高齢化社

会の対応策に百点満点の答えはないかもしれない。それでも逃げようのない問題にどう立ち向かうのか。また193の町内会、54の集会所、15の公民館を「陽だまり」として気軽な利用を勧めたり、相談窓口の「大変ホットライン」の設置や、徘徊、転倒時の「SOSキーホルダー」を提案する。



高齢者介護（イメージ）

答 町長

私の福祉に対する考えは「望むものはすべてをかなえる、与えてあげる」ではなく、「できることは自分で、それができないときは家族、地域、行政が寄り添いながら応援する」という考え方が基本にある。またプラス思考で考えれば高齢化率が高いということは、経験豊富な方の比率が高いと捉えられる。地域の実情に合わせて経験、技術、知識を発揮して生きがいを見いだすことができる。町づくりをすすめたい。

答 健康福祉課長

高齢者の見守りは、町内会単位の相互見守りや、民生児童委員等の多種多様な方々にご協力をいただいている。集会所、公民館の活用は、もっと気軽に利用されるよう町としてもお手伝いしたい。安否確認ホットラインについては地域包括支援センターの「62-8516」で受付している。また「SOSキーホルダー」については、現在、靴に3桁のシールを貼って早期発見に役立っている。この先、GPSの端末の利用にも取り組みたい。

問 宇出津総合病院の休診

答 できる限り速やかに周知

問

宇出津総合病院は少なくとも2月1日から2月8日まで外来診療をしなかった。「朝、家族に送ってもらい病院に行ったが、休診であった。」「帰るバスのみならず辛かった。」と町民の声を聞いた。当町ではほとんどの家に屋内告知機があり、外部でも屋外拡声機が170台ほどもあるはずだ。暮らしと命を守る情報の伝達と周知を図れ。

答 町長

院内でコロナ感染者が確認され対応した。休診であることを知らずに訪れた皆様には大変ご迷惑をかけた。今後、同様の事案が発生した際には屋外スピーカー、宅内告知器を活用して周知を図る。



吉田 義法 議員

問 グランピング事業の進捗を問う

答 町主体では実施しない

問 ①真脇遺跡公園でのグランピング事業が進んでいない理由と、これまでの進捗状況は。
②真脇遺跡公園でグランピング事業を進めるにあたり、集客の目玉は何か。また、柳田植物公園でも指定管理者より提案があったそうだが、事業実施に至らなかった理由は。
③周辺施設と連携し滞在型観光を進める一つの方法として、トレーラーハウスを活用したグランピング事業を提案する。移住体験や災害時の仮設住宅としても使え有効利用できる。

答 ふるさと振興課長 ①昨年3月、町外の事業者より真脇遺跡公園にドーム型テントを整備し、観光集客や施設の売上げ拡大を図る提案があった。提案事業者は出資者を募っていたが、興味を示していた2名の投資家はいずれも、コロナ禍等の影響で断念した。他にも興味を示している事業者がいるので判断を待ちたい。また、事業に関わる電気設備や木製階段はおおむね完成。給排水設備はテナントの配置が決まってから整備する。

②真脇遺跡公園の魅力は、何といっても縄文人が長期間定住した縄文遺跡。そして併設されている温泉施設。柳田植物公園でのグランピング事業は、指定管理者の自主事業の一つとして計画書に記載があった。自主事業は町の承認を受ける必要はないが、施設の増築、改修を行う場合は協議が必要。

答 町長 ③グランピング事業は、専門的ノウハウを有する民間事業者において実施してもらおう。町主体で実施する考えはない。



整備された真脇遺跡公園

問 違法操業船の取締り強化を求めよ

答 関係者と連携し強く要望する

問

①大和堆における外国漁船の違法操業や、ミサイル発射などの対策強化を国に強く要望しているか。
②ロシアのウクライナへの軍事侵攻の影響で、原油価格が高騰する恐れがある。多くの事業者が生産物価格を決められない漁業、農林業者への燃料費などの支援策はあるか。
③大和堆における外国漁船の違法操業に対し、臨検や拿捕など強い取り締まりが必要だ。また、北朝鮮のミサイル発射実験やロシアの軍事演習などについても、実施しないよう強く求める必要がある。文書だけでは進歩がない。町が一丸となり県とともに国に直接、強く要望すべきだ。

答 町長

①コロナ禍により書面での対応。国会議員が来町の際は対策を強く要望。
②農業のハウス栽培と漁業において、原油価格が一定の基準を超えた場合、補填金が支払われる国のセーフティネット構築事業がある。関係機関と連携し制度への加入促進を図る。
③漁業関係者には、現在の国の対応は納得のいくものではない。今後、漁協や県、そして関係者と連携を図り強く要望を続ける。



イカ釣り漁船



馬場 等 議員

問 仮設園舎での園庭は どうなるのか

答 崎山中央公園を代替とする

問

仮設園舎運営時の園庭について、どこに設けるのか、また設けることができないとすれば、どこを利用するのか説明せよ。

答 町長

崎山中央公園を園庭の代替として利用し、現ひばり保育所解体前など安全性が確保されている期間、ひばり保育所の園庭を利用する検討もしている。

運動会については能都体育館を利用することとしている。

仮設園舎に係る説明を昨年11月に開催した保護者説明会でやっている。



建設中の仮設園舎

精神的な虐待などに対応している。3番目は、ケアマネジャーへの支援を行っている。

4番目は、要支援の認定がついている方や、総合事業利用者への介護予防ケアプランの作成を行っている。

高齢者の「孤独死」を防ぐ対策は

能登町で高齢者の「孤独死」の事例をいくつか聞く。一人暮らしの高齢者の安否確認をお願いする窓口として、地域包括支援センターを使えないか。

答 町長

地域で助け合う当町の長所を継続したいと思っている。地域包括支援センターに依頼があれば、個々の相談内容に応じて対応を協議するので、少し「心配になってきた」時点で相談して欲しい。 ※「孤独死」：独り暮らしの人が病気で助けを求めることができず急死し、しばらくしてから見つかること

大森町政1年間の総括

新型コロナウイルス対策や経済対策など、大変かじ取りの難しい1年だったと思うが、大森町政の1年間の総括をせよ。

答 町長

コロナウイルス対策に追われた1年だった。そんな中でもワクチン接種率が9割を超えた。今後人も人と地域の支え合いを大切にしていきたい。

町長の政治信条は

大森町長が町政を行うにおいて、政治信条として最も大事にしている事は。

答 町長

私は決断する時には信念を持って決断をしたい。私の行政サービスに対する考えは次のようなものである。人は生きて行く上で何らかの障害物に当たり、時に行政側に助けを求められる。その時に、行政としてその人が障害物乗り越える為はどこまでできるのかを見極め、その状況を判断した上で行政サービスを行うことが重要である。

問 仮設園舎の入札額と進捗状況は

答 8107万円、基礎工事中だ

問

宇出津地区統合保育所建設に伴う仮設園舎の入札結果と進捗状況を問う。

答 町長

仮設園舎は賃貸借の入札で契約金額は税込8107万円、落札業者は日成ビルド工業株式会社である。

進捗状況については現在、仮設園舎の基礎工事と外部配管工事を行っている。

3月下旬には建て始め、5月には仮設園舎として使用を開始する予定である。

問 その他質問

地域包括支援センターの約割は

「高齢者の身近な相談窓口」と謳ってある能登町地域包括支援センターは、どのような役割を担っているのか説明せよ。

答 町長

大きく分けて4つの役割がある。1番目には、高齢者の相談窓口として、ここで受けた相談を内容に応じた最も適切な機関等へつないでいる。2番目は、身寄りのない高齢者の成年後見制度の活用促進、高齢者に対する経済的、身体的、あるいは



市濱 等 議員



研修風景

問 自治力向上政策を示せ

答 研修等で職員のスキル向上を図る

問

自治力向上には職員の資質向上が必要だ。どのような体系でどう取り組んでいるか聞く。人材育成をコンサルタント会社に依存するところが伺える。職員研修費を増やし、各部門に専門職員を養成しコンサルタント会社への依存度を下げべきだ。

答 総務課長

コンサルタント会社には専門的な課題解決を依頼している。職員研修においても専門性の高い問題においては講師を招聘している。一定期間、自治大学校や職員中央研修所等に派遣し、スキル向上に努めている。

問 人口減少対策に産業基盤の構築を

答 創業支援等を行う

問

働く場所、安定した収入が人口減少に歯止めをかける。当町において今までにない、町民が新たに収入を得られる取り組みはできたか聞きたい。

答 町長

商工分野では事業継承、創業支援で8件、副業人材活用促進事業に4件、地域資源活用ビジネスに5件、農林水産業では50歳未満の農業事業者4名に対し営農開始時期の資金面を支援した。様々な分野において、取り組む意欲のある方に支援をする。

問 その他質問

奥能登市町連携協議はできるか

過去を顧みると能登半島の活性化に多くの方々が努力されている。能登半島は陸の孤島だ。国会議員にお願いして、過疎債を超える有利な資金調達ができる孤島振興法など考えて頂き、活性化を諮ることは出来るか。

答 町長

世界農業遺産活用実行委員会を参考に、県を中心にテーマごとに連携を図りながら町の振興に努めたい。



田端 雄市 議員

問 住宅リフォームに助成を要望

答 制度設計を考えたい

問 移住・定住者には、住宅の購入・リフォームの助成事業がある。また、過去に県の少子化対策事業として、リフォームに対する助成事業があった。町内在住者の子育て世代や高齢者など、その年代に応じて、リフォームなどの需要が現にある。長期間の人生を喜びとする生活の拠点であり、住まいも社会保障の一部の考えで施策を講じるべきだ。

答 町長

令和元年度までの五年間、三世代同居などを条件に県と合わせて、事業を実施してきた。町内在住者の住宅取得等の助成制度について、子育て、若者、高齢者など総合的に検討すべきものであり、今後は制度設計に向けて考えたい。



問 制度に、若者加算の支援を

答 加算制度は考えたい

問 前向きな答弁に重ねての要望であるが、若者世代の定住支援の意味で、加算の視点も加えていただきたい。

また、従前の事業を廃止してから数年が経過した。この間に恩恵を受けられなかった方にも、助成の効果を及ぼすことも要望したい。

答 町長 新たな制度設計の中で、加算制度は、当然に考えていく。事業の遡っての助成については、過去に事例はなく、困難であるが、いろいろな意見を聞きながら取り組んでいく。

問 新年度当初予算の内容を問う

答 持続可能を前面に推し進める

問 令和4年度予算編成と令和3年度予算編成当初との相違点はどこにあるのか。また令和4年度の予算編成にあたり「物語のあるまちづくり」のため何を前面に出したのか。

答 町長 令和4年度と3年度との相違点は大きく3点だと考えている。

1点目は昨年12月に個別施設計画を策定し、公共施設の管理について、計画に基づき、着実に推し進めることが必要。

2点目は、第一次産業の振興に主眼を置き予算化を図ったこと

3点目は、妊娠、出産への支援や、子ども・子育て支援、介護人材の確保、介護施設への支援など、福祉全体の充実を図った。

また、関係人口の創出など課題に向き合いながら予算編成を行った。

「物語のあるまちづくり」としては、これまで先人が守り続けてきたその物語を受け継ぎ、今生きる私たちが未来へと紡いでいく持続可能な登町を全面的に出し、予算編成を行った。



志幸 松栄 議員

問 新焼却施設建設工事の進捗状況は

答 令和5年本格稼働に向けて整備中

問 奥能登クリーン組合の新焼却施設についての進捗状況、完成後のごみの分別や出し方はどう変わるのか。町民への周知方法を問う。

答 住民課長 令和4年度末に稼働停止する石川北部RDFセンターの代替施設として事業に着手し、令和5年4月からの本格稼働に向け整備に取り組んでいる。ごみの分別や出し方については、秋ごろを目途に決定し、冊子の全世帯への配布やホームページや広報への掲載、出前講座等により町民へ周知を図る。

問 令和4年度予算の重点施策は

答 福祉の充実を含む3点である

①大森町政初の予算編成での重点策は。

答 町長

遊休施設解体の加速化を含む個別施設計画の着実な推進、1次産業の振興、福祉の充実である。

答 町長

少子化対策では、妊娠するための必要な力を調べるプレ妊活検診、聴覚障害の早期発見の為に新生児聴覚スクリーン検査の助成を行う。産科医療機関のない当町において妊婦の経済的負担軽減のため、妊娠期サポート助成金を支給する。予算額は、妊婦1人当たり上限5万円とし、60人分を予算化した。婚活支援事業にも引き続き取り組む。



堂前 利昭 議員

②少子化・高齢化・過疎化の対策についての予算や具体的な事業内容を聞

老朽化しているまつまみキッズセンターの再整備に向けて基本計画策定費348万7000円、こどもみらいセンターの子育て支援ルーム改修費1172万6000円、みらいセンターの屋内大型遊具の改修費491万円を予算化した。統合保育所整備事業においては、実施設計や地質調査に2411万2000円、ひばり保育所の解体費用に7840万8000円、そして仮設園舎借上料に3714万7000円を予算化した。

高齢者対策では、介護サービスの提供体制の推進のため、グループホームの移転、新築、開設時の初度経費の支援に4115万1000円、人材確保事業に620万円を予算化した。

過疎化対策では、関係人口創出事業のさらなる推進を図る。地域資源を活用して、ワーケーションの体験コンテンツを作成する実証実験に365万円、研修参加者が関係

人口となり、問題、課題解決のきっかけをつくる企業研修誘致事業に103万1000円を予算化した。

問 解体する公共施設の計画を示せ

答 令和4年度は、14施設

答 企画財政課長

令和4年度解体予定の14施設は、予算で示している。

令和5年度は、旧柳田小学校、フルーツ管理センター、旧松波駅である。令和6年度は、内浦多目的交流研修施設、しらすぎ保育所、松波分団詰所、令和7年度にはまつまみキッズセンターを予定している。

②跡地利用は考えているのか。

答 町長

基本的に新たな公共施設等の建設は考えていないが、統廃合や複合化など近隣施設の状況や民間需要等を含め個別に検討する。

問 その他質問

PayPayがもたらした経済効果は

①約2600万円のキャンペーンは、どれだけの普及率だったのか。第2弾での経済効果は。

答 ふるさと振興課長

町内で利用できる店舗数PayPayアプリにて決済を行った利用者割合から、キャンペーンの前後の増減比較によって普及率を説明する。

第1弾のキャンペーン時の利用可能店舗数は、133店舗だったが、第2弾のキャンペーン開始後には155店舗となり、22店舗増となった。利用者割合は、第2弾のキャンペーン前と比較して利用者割合が134%増、利用回数が207%増となった。

利用店舗数、利用者割合とともにキャンペーン前より順調に伸びており、非接触型の決済による新しい生活様式が少しずつ浸透している。

経済効果については、キャンペーン対象の店舗の取引額が全体で1億円となり、キャンペーン前より6600万円増額の298%の増であった。PayPayでの店舗側の負担をどう考えるか。

答 町長

メリットとデメリットがあり、事業者側の経営判断である。国を挙げてのデジタル化が急速に進む中で、キャッシュレス決済は、避けて通れないと考える。



議案をチェック

3月定例会議の議案質疑

問 吉田義法 議員

イカキングのアンケート調査の内容は

答 ふるさと振興課長

「イカの駅つくモール」にQRコードを設置し、スマートフォンで読み込みアンケートに回答してもらおう。回答者数3000名を目標として1人1回のみの回答で1000円のクーポン券をプレゼントする。アンケート結果については広報やホームページで公表したい。

問 吉田義法 議員

役場跡地について公園化とあるが具体的な計画、構想は

答 ふるさと振興課長

以前の展望デッキは見直し、広場の一部に大屋根広場を計画。また管理棟も現在のベイエリア公衆トイレの機能を移転し、併せてイベント用の倉庫としても利用したいと考

えている。

問 吉田義法 議員

漆原浄水場ほどの程度の解体か

答 建設水道担当課長

管理棟及び水道施設の全部を撤去する予定。

問 田端雄市 議員

妊産婦・乳児医療機関受診助成事業、新生児聴覚スクリーニング検査の詳細は

答 健康福祉課長

当町には産科医療機関がないので、町外の医療機関に通う際の交通費を助成する事業。通常14回ほど受診するが、5回目の健診後に申請してもらい、保健師との面談も含め、切れ目のない支援をしたい。新生児スクリーニングは聴覚の早期検査で、子どもの健全な成長に寄与したい。

問 馬場 等 議員

予約制乗合タクシー事業の料金一律化の単価は決まっているのか

答 企画財政課長

これまで距離に応じて1200円、1500円、2000円の3段階であったが、一律700円で統一して使用しやすくする。

問 宮田勝三 議員

学校給食の米飯補助金について説明せよ

答 農林水産課長

石川県の学校給食会の指針では2等米が標準となっているが、当町では2等米が少ないこともあり、能登町産コシヒカリの1等米を子どもたちに食べてもらい地産地消や米の消費拡大につなげたい。

問 市濱 等 議員

松くい虫対策防除事業の空中散布の地域、樹幹注入の場所と本数は

答 農林水産課長

航空機による薬剤散布は内浦地区50ヘクタール、能都地区104ヘクタール、柳田地区29ヘクタール

で全体で183ヘクタールを予定。樹幹注入は松波城址公園と遠島山公園で450本を予定している。

問 市濱 等 議員

町道路線の認定、変更、廃止について、その理由と経緯は

答 建設水道課長

町民の利用頻度が高い柳田、国光、石井、笹川宮地の7路線を町道認定。笹川柳田1号線や宇出津93号線については終点の変更。また宇出津80号線については、通行不可となったため廃止する。

問 鍛冶谷員一 議員

会計年度任用職員の概要と職員の適正な定数管理について説明を求め

答 総務課長

業務に必要な職員として会計年度任用職員を採用しているが、職員の定数にはカウントされない「定員適正化計画」等には含まれない。ただ指摘されるように人口千人当たりの職員数は多い方なので改善に努めたい。

総務産業建設委員会

小路政敏 (委員長)

堂前利昭 (副委員長)

田端雄市 國盛孝昭

酒元法子 河田信彰

志幸松栄

問 地域活性化企業人交流業務の成果は。

答

高度なスキルを活かした業務を担当。ANAの職員を選抜し、町でのワークショップの実証実験、人材育成、各企業と連携をとる業務を担う。

問 空き家家財道具等処分助成金を、移住・定住と合わせて実績の報告を。

答

定住促進協議会への補助金として997万6千円を計上。令和3年度(令和4年1月末)では19組35名が移住。平成27年度からは141組239名。令和3年度ふるさと定住住宅助成金は、新

築が2件、中古物件購入者が7件、実家改修が3件の計12件。空き家家財道具等処分助成金は、8件を見込んでいます。

問 予約制乗合タクシー運行費について、前年度との比較と財源は。

答

令和3年度は266万3千円、令和4年度は494万7千円で、約230万円の増額。予算は一般財源である。

問 防犯対策事業の説明を。

答

防犯対策事業346万8千円は、町管理の防犯灯とその電気料、防犯協会等の負担金などである。比那・白丸地区の防犯灯をLED化する工事費も計上した。

問 創業・継承支援事業の実績及び相談は。

答

令和3年度は、創業4

件と継承4件の計8件を見込んでいます。令和元年度は4件で令和2年度は6件であり、この3カ年で倍になっている。今後、も町外からの転入者や地元への若者に創業していただけるように、当事業を継続していく。

旧能都庁舎の跡地利用は、白紙になったと理解している。当初予算に実施設計が計上されているが、地元の区長会や商店街の意見も調整されているのか。

展望デッキ案を見直しふるさと振興課が調査を実施した。広場のシンボルとなり、雨や雪に関係なく利活用できる大屋根のテントに変更した。このテントはイベント用で、近隣の市町で例えると、穴水町のかき祭をしてい

る屋根付き広場、輪島市のマリンタウンにある屋根付きイベント広場のようなもの。基本的には以前の計画と変更はないという判断で、令和4年度から本格的に実施したい。

ージなどの計画の一部分を変更するということか。この事業の場合には、事前に委員会等で諮ってほしい。

この事業は、平成31年度に検討委員会からの答申を受け、策定した計画を全員協議会で説明。展望デッキを大屋根のテントに変更する見直し案が出たが、ベースの計画案は、答申によるもので、外周の道路整備等に関する実施設計を令和4年度に計上したもの。

今後、総務産業建設常任委員会や検討委員会に諮って計画の見直しをすると、事業の実施時期が遅れる。それでも見直した方がよいというのであれば、計画の見直しをしなければならぬ。今の時点では策定された計画のベースを変える予定はない。いやさか広場では、盆踊りや保育所のお祭りごっこや寒ぶりまつりを開催している。大屋根のテントは、そのようなイベント時でも天候に左右されず、年間を通して利用できるよう、利用団体の意見なども取り入れていきたい。今後は、実施設計をプロポーザル発注

し、落札業者に地元住民の施設運営方法や利用方法を提案してもらう予定である。

年に数回の小規模イベントのために施設を造ることは、地区住民が納得するのか。

検討委員会では、常設テント案への賛成が過半数を占めた。現在、町には常設テントはなく、イベント時に飲食物の提供をするには、屋根付きの場所を調理したものでなければ保健所の許可は得られないため、常設テントが良いという答申を受けた。

中小企業退職金共済制度加入促進事業とは。

町内に事業所を有して、従業員に係る退職金共済契約を締結した中小企業者に補助金を交付し、従業員の福祉の増進と雇用の安定を図ることが目的で、補助の内容は、中小企業者で新規に退職金共済契約に加入する事業所またはこれまで退職金共済契約に加入していたが新規雇用者分を締結する方には、最初の12カ月分

の納付に対して補助金を交付するもの。

過疎対策事業の主な事業内容を。

主な事業は、総合保育所整備事業の1億3960万円、焼却処理施設整備事業の10億2840万円、社会資本整備総合交付金事業の5670万円、地方創生道整備推進交付金事業の3680万円、港湾整備事業の2540万円、真脇遺跡縄文館整備事業の2920万円。

土木総務事務費の報償費を説明せよ。

河川愛護や道路愛護の活動として、例年240万円ほどの予算を計上している。近年では、高齢化や世帯数の減少により

参加者が減り、草刈りができない町内会が増えつつある。各町内会の実情によって、公道や河川が少ないこともあれば、公道が長く草刈りが数日にわたることもある。また、農免農道のような集落間の公道は、平均すると1地区あたり約3kmあるが、シルバー人材センターや町道保全班の草刈り等で

は、手が回っていない。よって集落間の公道を草刈りしていただいた町内会には、これまでの道路愛護とは別に1000mあたり1千円の報償費を支払うため、新規事業として240万円を計上した。

サウンディング調査業務とは。

サウンディング調査は、観光施設の今後の方向性や優先順位の考え方と対策内容、実施時期を具体化した第一期能登町公共施設個別施設計画の方向性を踏まえながら、民間譲渡の可能性の検討を行い、再編のロードマップを作成することを目的として調査を行う。

総務費雑入を説明せよ。

ふるさと納税は、寄付金額に応じてポイントが付与される。寄付しても返礼品が得られない場合には、ポイントを積み立てることができ、ポイントの有効期間は2年間で、その期間内であれば返礼品を選んで交換することができる。返礼品を選ばずに2年が経過すると、ポイントは失効する。また

最初から返礼品を希望せず、金額を寄付する方もおられる。ポイントを失効した累計は798件、金額は580万3千円で、その失効したポイントの一部を歳入として受け入れるもの。

いしかわ新型コロナ対策認証推進事業とは。

1件あたり5万円を助成。補正で80件分の400万円を見込んで計上したが、認証店の申請事業者が上回ったため、20件分の100万円を追加。近隣の実績は、輪島市134件、珠洲市58件、穴水町36件、能登町91件。

能登町財産条例について説明せよ。

現行の能登町行政財産使用料条例と能登町財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例を統合し、そこにこれまで条例に制定されていなかった、普通財産の貸付と行政財産の貸付を追記した。

町道の認定について説明せよ。

農道からの移管の場合、

教育厚生 委員会

公共施設の建設に伴う場合、県道や他の町道のために維持管理が必要な道路、多くの人家へつながる道路、緊急車両の通行に支障がある道路など、町道として維持管理すべき道路を認定している。

能登海洋深層水施設条例の改正を説明せよ。

塩は、海水から生成された物品に該当するため、条例から規則に改正。深層水の原水、脱塩水、濃縮水、飲料水の改正は、単価の値上げ。開業から単価を変えずに16年間運用してきたが、機械設備の更新やポンプなどの部品交換による維持管理費が必要となるので、基本使用料を改正したい。原水は2000円で1000円を1100円に。脱塩水と濃縮水は10円で100円を1100円に。飲料水は20円で1000円を1100円に改正する。

市濱 等 (委員長)

吉田義法 (副委員長)

馬場 等 金七祐太郎

向峠茂人 宮田勝三

鍛冶谷真一

環境衛生費の備品購入費は、蜂の防護服2着購入との説明であるが、どこに置くのか。

消防に2着あるが、古くなって穴が開いているので、買い替えて役場に置き住民課で貸し出しを行う予定である。

コンセールのとの工事請負費の内容は。

雨どいが正面になかったため、安価な樹脂製で設置するための予算計上である。

委託料として計上された、部活動等スクールバス管理運行業務について説明せよ。

部活動の練習試合や大会のときに、補助を出して民間のバスを借りるものである。

大会などが集中すると台数が足りない時があるので、管理運行を委託する。

環境衛生費の生ごみ処理機5万円について説明せよ。

生ごみ処理機購入の補助金であり、コンポストは購入費の2分の1で上限3千円、電気式ごみ処理機は購入費の3分の1で上限2万円である。

衛生費の汚泥処理業務を長野県へ行って処理しているが、当地を含め県内で処理できる施設は無いのか。また、汚泥は年間どれくらいなのか。

説明せよ。

近隣を調べたところ、汚泥を処分する業者や処分場がないという事で、一番近い長野県の業者に運搬も処分もお願いしている。汚泥量は年間224トンほど排出している。運搬については年間42回、月平均では、3回から4回位の運搬をしている。

中学校管理費の生徒通学費727万円について説明せよ。

路線バスが通っている所の定期代の補助である。中学生63人分の定期代の全額を補助している。路線バスの走っていない所は遠隔地になるのでスクールバスが出る。なお、小学生は31人分を出している。

児童手当給付事業の扶助費、児童手当について説明せよ。

3歳未満が1万5千円、3歳以上中学生までが1万円、第3子以降が1万5千円である。なお、所得制限に該当の方は5千円である。

塵芥収集費委託料1億4200万円は大変大きな金額である。何社あるのか。

町内4社である。能都地区に1社、内浦地区1社、柳田地区2社である。

すこやかあかちゃん祝金1090万円の内容について説明せよ。

金額の内訳は、第一子が22人で10万円の支給、第二子が21人で20万円、第三子以降が15人で30万円、合計すると1090万円の支給ということだ。予算計上を行った。

1回目は6コースだったが、今回は12コースとし、前回通っていない所も通るようにした。また、今回は年齢制限をなくした。

個人番号カード交付事業は、交付率を上げるための事業だが、現在の交付率はどれくらいか。また、県内自治体の中で何

位か。

交付率は、2月末現在36.6%。申請率は42.4%である。県内自治体の中では交付率は19位である。

障害児援護事業の対象年齢は何歳か。

対象年齢は20歳未満である。

令和4年度分の借上料で月337万7千円を11回分、計3714万7千円を予算計上している。

病院事業会計の長期貸付金制度の内容について説明せよ。

説明せよ。

1月から3月の主な議会活動

1月9日 町成人式

1月11日 交通安全祈願祭

能登地区町議会連絡会研修会（能登町役場）

1月14日 議会運営委員会・全員協議会・

第1回能登町議会1月会議

1月20日 広報編集特別委員会

1月27日 石川県町村議会議長会臨時総会

（能登空港ターミナルビル）

2月28日 議会運営委員会

3月2日 （3日）議員全員協議会

3月7日 第2回能登町議会3月定例会議

（議案上程）

3月8日 総務産業建設常任委員会

3月9日 教育厚生常任委員会

3月15日 第2回能登町議会3月定例会議（一般質問）

3月17日 第2回能登町議会3月定例会議（採決）

3月24日 総務産業建設常任委員会

3月25日 石川県町村議会議長会議長協議会・石川県市町議会議員

公務災害補償等組合議会定例会（KKRホテル金沢）

能登町出前講座「身近な議会」（能登町役場）



出前講座（身近な議会）の様

令和3年度出欠状況表

○…出席 欠…冠婚葬祭 通院 私事都合等により欠席 一…対象外 オ…オブザーバーとして議長が出席

月 日	会議名	議員名													
		吉田 義法	堂前 利昭	馬場 等	田端 雄市	金七 祐太郎	國盛 孝昭	市濱 等	小路 政敏	酒元 法子	河田 信彰	向峠 茂人	志幸 松栄	宮田 勝三	鍛冶谷 眞一
04/01/14	議会運営委員会	—	—	—	○	○	○	○	○	オ	—	—	—	○	—
04/01/14	議員全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
04/01/14	1月会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
04/01/20	広報編集特別委員会	○	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	—	○	○
04/02/28	議会運営委員会	—	—	—	○	○	○	○	オ	—	—	—	○	—	
04/03/02	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	
04/03/03	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
04/03/07	3月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
04/03/08	教育厚生常任委員会	○	—	○	—	○	—	○	—	—	○	—	○	○	
04/03/09	総務産業建設常任委員会	—	○	—	○	—	○	—	○	○	○	—	○	—	
04/03/15	3月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
04/03/17	3月定例会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	
04/03/24	総務産業建設常任委員会	—	○	—	○	—	○	—	○	○	○	—	○	—	

まちかど

インタビュー

今回のまちかどインタビューは、「焼肉ポンちゃん」店主の藪下哲也さんを訪ねました。

インタビューアー
河田信彰



「焼肉ポンちゃん」店主 藪下哲也さん

◆新しい営業形態でお店を始められてどうですか
焼肉店を始める前は違う形の飲食店をしていましたが、おかげさまで皆様に使っていただけて商売が続けることができています。ありがとうございます。
お客様は食事を楽しまに来てくださると思えますので、アットホームな雰囲気です。気軽に通っていただけるよう心掛けています。

地元の食材にこだわり
能登の魅力を伝えたい!!

◆お店の看板メニューは能登牛です。やっぱり地元産にこだわりたいところがありますので。また、予約いただければ、刺身なども提供しています。

◆お店を経営する上でこだわっているところは、自分が店を始める前も家族が焼肉店を経営していました。メニューや店の内装といった目に見える部分はもちろんですが、やはり雰囲気大事にしています。お客様に足を運んでいただける雰囲気、気軽に来店していただけるよう心掛けています。特に若い方たちが集まり、将来のことや町の未来のことを語っていると、店を

◆お客様に能登の魅力を伝えるには、まず自分自身が地元の食材を味わうことが大切です。1次産業の活性化につながればいいなと、そういう気持ちで頑張っています。地産地消といわれますが、まさに地元の食材をお客様に伝えたいと思って営業しています。店と漁師の二足のわらじで体力的にきついこともあります。能登と言え

◆数下さんは焼肉店を営しながら漁師もされています。漁師の家に育ったので、元々漁師もしてみたいと思っていました。宇出津と言え、おいしい魚です。ありがたいことに店には観光客の方など、町外、県外の方も来てくださいます。そこで肉以外の魚もお出しして能登町の魅力を伝えることに少しでも貢献できればいいなと思っています。もちろん焼肉店ですので、能登牛もどんどんアピールしますよ!

◆まさに海や山の、おいしいものを味わえるところが、自分のような店が地元食材を提供し、能登の魅力を伝えることができれば、町の基幹産業である1次産業の活性化につながればいいなと、そういう気持ちで頑張っています。地産地消といわれますが、まさに地元の食材をお客様に伝えたいと思って営業しています。店と漁師の二足のわらじで体力的にきついこともあります。能登と言え



店内の様子

◆最後にひとこと。
お客様に能登の魅力を伝えたいということが、自分の経営の信念というべきところですが、やはり地元の方に愛されるのが大前提です。コロナでなかなか通常営業が難しいですが、地元の方に通っていたら、能登の良さを認識していただく。能登町は素晴らしいところ。まだまだ元気だ!というところを実感していただければと思っています。一次産業が活性化すれば、若者が働く場所も増え、また自分のような店も増えれば、そこで働く場もできます。自分の店も従業員がいますが、能登町に若者が残っていきけるような、そういったところでも微力ながら貢献していきたいと思っています。皆様、応援よろしくお願いします!

次の定例会議は6月6日開会予定です。

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしています。傍聴にお越しの際は、マスクの着用、手指の消毒等、感染症対策にご協力をお願いします。

広報編集	
特別委員会	
委員長	鍛冶谷員一
副委員長	堂前 利昭
委員	吉田 義法
	馬場 等
	酒元 法子
	河田 信彰

編集後記
気さくな店主のもとに若者が集い楽しいひと時を過ごす。また家族が団らんを訪れる。そういった雰囲気が味わえるお店です。コロナで思うような営業が続けられない時ですが、「町に活気を！」という心意気で店を切り盛りされています。これからも地元の若者たちのいい兄貴分という存在であることを期待しています。
(委員 河田信彰)